

5歳児 IV期（11月～12月）

預かり保育

長時間保育

ねらい

- ◎ 生活や遊びのきまりを守り、気持ちよく生活し、自分でできることを進んで行う。
- ◎ 自分のやりたい遊びや体を動かす遊びを繰り返し友達と楽しむ。

- ◎ 生活に見通しをもち、友達と一緒に遊びや生活を展開する楽しさを味わう。
- ◎ 戸外で体を動かして遊ぶ心地よさを味わう。
- ◎ 友達と一緒に考えやイメージを出し合い、共通の目的に向かって、協力しながら実現していく喜びを味わう。

内容・活動等

- 生活の仕方や約束事を理解し、自分でできることを自分で行う。
- 防寒着の始末や手洗い・うがいを自分から行う。
- 間食の後に鏡を見て口の周りを確認したり、下着が出ていないかを自分で確認したりするなど、身だしなみを整える。
- 自分のやりたい遊びを見付け、十分に楽しむ。
- 戸外で鬼遊びやドッジボールなど思い切り体を動かしながら、友達とルールを確かめあったり、考えたりしながら遊ぶ。
- 自分の思いや考えを伝えるとともに、友達の意見も聞きながら一緒に遊ぶ。
- やってほしいことややってみたいことを保育者に言葉で伝えようとする。

- 一人一人が自己発揮し、安心して生活できるようにする。
- 体調や気温、運動量に合わせて自分で衣服を調節する。
- 作った物で遊ぶことを楽しみ、満足感を味わう。
- 自然に親しむ中で、図形・数量・文字・時間等に関心をもつ。
- ルールや遊び方を考えながら全身を使って思いきり遊ぶ。
- 自分の考えを友達に分かるように言葉で伝えたり、友達の気持ちを受け入れたりする。
- 共通の目的に向かって、友達と話し合い工夫しながら一緒に遊ぶ楽しさを味わう。
- 異年齢の友達に思いやりをもって関わる。
- 午睡時間が短くなったり、なくなったりすることで自分の体調の変化に気付き、休息をとろうとしたり、保育者に状況を話したりする。

環境構成

- ◆ 外気との温度差を考慮しながら室温調整をしたり、換気や湿度にも配慮したりして健康に過ごせるようにする。
- ◆ 教育活動など幼児の一日の過ごし方に配慮しつつ、運動的な遊びとともに室内でじっくりと遊ぶ遊びを設定し、個々に選択して遊べるようにする。
- ◆ 遊びに必要なものを自分のイメージをもち製作できるように材料の選定や環境設定を行う。
- ◇ 体調不良になりやすい時期でもあるので個々の健康状態を把握し、無理のない活動計画を立てる。
- ◇ つい立てなどを活用し、一人になれるコーナーなど、自分のペースでゆったりと過ごせる空間を作る。
- ◇ 一人一人が自分のペースを大切にしながら、やりたい遊びをじっくりと取り組めるようにするために、コーナーを設けるなど環境設定を工夫する。
- ◇ 戸外で遊ぶ時間に、木の葉の変化や風の冷たさなどから季節の移り変わりを肌で感じられるようにする。また、不思議に思ったり、自分で調べたり、考えたりできるように図鑑や虫眼鏡などを用意する。
- ◇ 感謝の気持ちや心地よさを感じるよう、保育室や身の回りの大掃除をする。
- ◇ 午睡なしの日を少しずつ増やしていく。それに伴い、遊具を見直し、午睡をしない時間をゆっくりと過ごせるように配慮する。また、眠くなったり疲れたりしている幼児が安心して休息できる場を用意する。

5歳児

教育活動後の期ごとの指導計画例

預かり保育

長時間保育

☆ 保育者の援助	<ul style="list-style-type: none"> ★ 遊びを進める中でトラブルが起きたときは、幼児同士が意見を出し合えるように見守り、自分たちで解決できるように後押しする。 ★ 鬼遊びやドッジボールなどルールのある遊びを話し合いながら楽しむ場面を大切に、その様子を見守りながら必要に応じた援助や仲介をする。 ★ 感染症が流行しやすい時期であるため、衣服の調整や手洗い・うがいの大切さを伝え、自分から気付くように声掛けをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 幼児の頑張りやアイデアを認め、幼児全体にも知らせることで友達の良さや大切さに気付けるようにする。 ☆ 遊びや生活の中で、自ら危険なことに気付く、自分で気を付けられるように、その都度声をかけたり、全体で指導したりする。 ☆ 年末・年始の風習について、正月遊びや伝承遊びを一緒に楽しみながら話したり幼児全体に対して分かりやすい言葉を選び伝えたりする。
	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 長時間保育へ安心して移行できるように、一人一人に合った丁寧な援助をする。 	

△ 保育者間の連携	<ul style="list-style-type: none"> ▲ それぞれの時間帯で使っている教材や楽しんでいる遊びを紹介するなど、それぞれの保育について情報を交換し、参考になることを保育に取り入れる。 ▲ 気候の変化に伴い、体調を崩しやすい時期であるため、一人一人の体調の変化に留意し、保育者間で情報を共有する。 ▲ 夕方になると一日の疲れも見られるので、保育者間の連絡を密にし、幼児が安全に遊べるように見守る。 ▲ 個人面談の前には、事前にその幼児の成長と課題について、保育者間で情報を共有し、保護者に伝える内容を整理する。 ▲ 個人面談終了後は、保護者と話した内容を保育者間で共有し、指導に生かしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> △ 冬季休業中の過ごし方（持ち帰る物、大掃除の方法、異年齢交流など）を保育者間で話し合う。 △ 個々の幼児の様子を把握し、時間設定（午睡のもち方や移行時間など）について保育者間で話し合う。

□ 保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> ■ 個人面談を設定し、遊びの様子や友達との関わりの中で変容した姿を伝え、成長を喜び合う。 ■ 手洗いやうがいなど冬の健康な生活習慣について、園の取組を知らせるとともに、家庭にも協力を求め、習慣の定着を図る。 ■ 外遊び用の上着や日常的に使う防寒着は、動きやすく、幼児が自分で扱うことができる物を用意してもらうように依頼する。 ■ 感染症が流行する時期であるため、体調の変化が見られた時は詳細を伝え、注意を促す。 ■ 園やクラスで感染症が発生した場合は、症状などを具体的に知らせ、注意を促す。 ■ 感染症に罹患した場合は、出席停止の扱い、登園許可証の提出などについて伝え、協力を求める。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 家庭でも、自分でできることは自分で行うよう、家庭での協力を依頼する。 □ 午睡なしの日の家庭での様子などを聞き取り、保護者とともに、よりよい生活の組み立てについて考える。

5歳児 V期（1月～3月）

預かり保育

長時間保育

ねらい

- ◎ 預かり保育でのきまりを守り、生活習慣を身に付けて自分で行動する。
- ◎ 自分がやりたい遊びを意欲的に展開していく。
- ◎ 小学校1年生になる期待と自覚をもち、見通しをもって生活する。

- ◎ 楽しかった経験を生かして繰り返し遊んだり、自分の成長を感じたりしながら、就学への期待をもつ。
- ◎ 冬の自然事象や身の回りの出来事に興味や関心をもち、遊びに取り入れ楽しむ。
- ◎ 自分の力を十分に発揮しながら、友達と協力して遊びや生活を進め、充実感を味わう。

内容・活動等

- きまりを守り、よい生活習慣を身に付けて行動する。
- 保育者や友達に、生活の中で困っていることを自分から伝えたり聞いたりするなど、自分でできることが増え、自信をもって行動する。
- 友達と季節ならではの遊びを楽しんだり、戸外で体を動かしたりして遊ぶ。
- 自分がやりたい遊びを見付け、意欲的に友達と遊びを広げていく。
- 様々な友達との関わりを深め、自分の考えを伝えながら様々な遊びを楽しむ。
- 友達とのつながりを感じ、一緒に過ごす喜びを存分に味わう。

- 自らの生活習慣を見直すことを通して、よい生活習慣について考え、行動に移す。
- 1年間を思い出し、自分の成長を感じ、就学への期待をもって生活する。
- こま回し、カルタ、すごろくなどで遊びながら文字や数量・図形に興味をもち、理解を深める。
- 冬の自然に関心をもち、遊びに取り入れ、試したり、工夫したりして遊ぶ。
- 友達と一緒に積極的に運動遊びや集団遊びを楽しむ。
- 友達のよさを認め、役割を分担したり、力を合わせたりして遊びや生活を進め、友達とのつながりを感じ、共に過ごす喜びを存分に味わう。
- 異年齢児に自分から関わり、遊びを通してつながりを深める。
- 自分たちの成長を保育者と共に喜び合う。
- 午睡なしの生活に慣れ、意欲的に生活する。

- ◆ 生活の見通しをもって行動できるように、時間や活動の流れを事前に知らせたり、生活の流れを幼児と一緒に決めたりする。
- ◆ 戸外で遊ぶ機会を作り、体を動かして遊ぶ楽しさを味わえるようにする。
- ◆ 好きな遊びを見付けてじっくりと遊べるような環境設定を心掛け、幼児がどんな遊びに興味をもっているかを把握し、教材や玩具を準備する。
- ◆ 異年齢児に思いやりをもって関わったり、遊びを伝えたりできる場面を設定する。

◇ 環境構成

- ◇ つい立てを活用し一人で遊び込めるコーナーを作り、ゆったりと過ごせるようにする。
- ◇ 好きな遊びをじっくりと楽しめるように、幼児の様子を見たり要求を聞いたりしながら教材準備や環境設定を行う。
- ◇ 預かり保育で楽しんできた遊びを振り返って、遊具や用具を準備し、環境設定を行う。

- ◇ 午睡なしの生活になり体調不良になりやすいので、一人一人の状態を確認し、無理なく過ごせる活動内容や環境設定を考える。
- ◇ こまやカルタ、すごろく等を準備し、いつでも友達と楽しめるように設定する。文字への興味も出てくるので自分で読めるような簡単な絵本やひらがな表などを用意する。
- ◇ 冬の自然に触れ、自分で調べたり、イメージをもって遊んだりできるように図鑑や絵本などを準備する。
- ◇ 園生活の思い出を振り返りながら自分たちで過ごした保育室の掃除や整理整頓を行う場を設定する。
- ◇ 午睡がなくなり、好きな遊びを十分に楽しめるように、新しい遊びを提供するなど環境設定を工夫する。

5歳児

教育活動後の期ごとの指導計画例

預かり保育

長時間保育

☆ 保育者の援助	<ul style="list-style-type: none"> ★ 幼児が生活の流れを意識し、先を見通して行動できるよう、個々の状況に応じた援助をする。 ★ 幼児同士が話し合ったり、ルールを決めたりしている姿を見守り、自信や意欲につながる働き掛けをする。 ★ 友達との関わりの中でトラブルが生じた際は、その姿を見守り、幼児が援助を求めてきたときには双方の気持ちを聞き仲介し、一緒に解決方法を探るようにする。 ★ 自分たちで遊びを進め、楽しんでいる姿を十分に認め、自信や仲間意識を高められるような働き掛けをする。 ★ 異年齢児への関わりを見守り、必要に応じて仲介する。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 生活習慣がどの程度身に付いているのか、一人一人確認しながら、必要に応じて適切なアドバイスを与えるとともに、できることを認め、自信につなげられるように援助する。 ☆ 時間を意識して時計を見ながら生活できるように声掛けを工夫する。 ☆ 園生活を振り返ったり、思い出を話したりしながら個々のよさを認め、成長を喜び、自信をもって就学できるようにする。
	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 保護者の就労等により長時間保育へ移行する際は、安心して長時間保育での生活に始めるよう、一人一人に合った丁寧な援助をする。 	

△ 保育者間の連携	<ul style="list-style-type: none"> ▲ 生活発表会に向けての活動や、当番活動の引継ぎ、お別れ会の準備など、様々な活動が入ってくるので、疲れや興奮が見られる幼児も予想される。学級担任は教育活動での様子を丁寧に伝える。 ▲ 感染症が流行する時期であることを踏まえ、幼児の体調については特に細かく引継ぎを行う。また、各クラスの状況（罹患者数など）の情報を共有する。 ▲ 一人一人の幼児の成長と課題について、保育者間で話し合う機会をもち、共通理解をした上で次年度に引き継ぐ。
-----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

□ 保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> ■ この時期ならではの生活発表会に向けた取組、当番の引継ぎ、お別れ会など修了へ向けた取組などについて、口頭や掲示で知らせる。 ■ 保護者が、修了関係の書類提出や各種手続き等について遺漏なく行えるよう、重要事項を保護者に確実に伝達できる園体制を整えておく。 ■ 感染症の発生状況や手洗い、うがいなどの予防の大切さを知らせるとともに、家庭でも体調の変化に留意してもらうように促す。 ■ 小学校での保護者との連携は、就学前とは異なることを理解できるよう、機会を捉えて話す。
	<ul style="list-style-type: none"> □ その日の幼児の姿から、成長を感じたことを具体的に伝え、就学に向けて成長の喜びを共有する。 □ 幼児の成長の姿を具体的に知らせ、成長の喜びを共有する。 □ 1年間の園への理解、協力に対するお礼を伝えるとともに、就学に向けて生活を見直すよう促す。 □ 就学に向けて不安のないように保護者とのコミュニケーションをより密にとっていく。